

高齢者による交通事故が相次ぎ、免許証の返納を検討している人も多いだろう。だが、長年無事故を続け割引率がアップした自動車保険は安易に「解約」してはいけない。免許証返納の特典と併せ、運転卒業の前に知つておきたい情報を紹介する。

ジャーナリスト 柳原二佳

免許を返納となると、自動車保険の解約を一刻も早くと焦りがちだが、ここで早まつてはいけない。

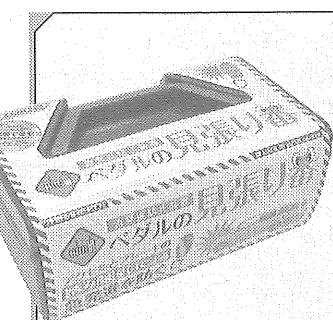
「当社の場合、自動車保険の解約を申し出る7等級以上のお客様には必ず中斷手続きをお勧めしています」

そう語るのは、青森県八戸市の山手保険事務所代表・佐々木正志さんだ。

「自分はこの先、もう車には乗らない……」というお客様でも、とりあえず中断しておけば、その先10年間は同居のご家族がいつでもその保険を引き継ぐこと

ちょっと待つた!

自動車保険は解約せず、「中斷」を



出た場合、通常は保険会社や代理店から、「中斷」の手続きがあることを説明される。大手損保の場合、保険代理店システムの段階で、中斷制度についての注意文言を記載したり、確認メッセージを表示させたりすることで、漏れのない案内ができるよう態勢を取っている。

インターネット契約の場合、解約を申し出ると、

交通の不便な地方で暮らすと、自動車を手放せない、という方もいらっしゃるだろう。そこで注目されているのが、カー用品の販売や車検を手がける「オートパックス」が発売した「ペダルの見張り番」(写真)だ。

昨年12月に1千台を販売したところ瞬く間に品切れとなり、現在は全国約570店舗で予約順に販売している(本体、取り付け部品、工賃で税込み4万3198円)。

最終的にはスタッフが対応するため、安易に解約手続きには至らないはず。だが、中には十分な説明をしない代理店もあり、契約者が理解しないまま「解約」してしまっているケースも少なくない。

もし、ここまで読んで「しまった!」と思った人は、すみやかに契約していた保険会社に連絡を入れてほしくない。

免許証の返納は有効期限内に

この商品は、アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いの事故を防ぐため開発された装置。同社広報部によると、装置のセンサーが踏み間違いを感じた場合、アクセルを強く踏み込んで急発進しないと

「事故を起こしたことすら覚えていない。そう言われてしまったら、いつたいどこに怒りをぶつけてよいのか……」

高齢ドライバーによる事故の遺族から、こんな切実な声が寄せられる中、警察は今年1月、高齢ドライバーによる交通事故を減らすために有識者会議を立ち上げ、対策の検討に乗り出した。3月には改正道路交

るAさんは、77歳の喜寿を9年経てば車を運転できる年齢に達する。Aさんは無事故で、かけ続けてきた20年間は同居のご家族がいつでもその保険を引き継ぐこと

ができるのです。長年無事故を続けてきたドライバーにとって、自動車保険の無事故割引は大きな財産です」(佐々木さん)マイカーの廃車、譲渡、車検切れ、リース業者への返還、盗難、災害、海外渡航などに伴って、自動車保険の契約を中断しなければならない場合は、その旨を保険会社に伝えて「中斷証明書」を発行できる。

この手続きさえしておけば、契約者と同居する親族が新たに車を入手した際、10年間を上限に、その親族が中斷時の割引等級を引き継ぎ、契約をスタートすることができる(ただし、解除・失効した契約および契約車が構内専用車の場合は対象外)。まもなく運転歴60年にな

一方、中斷していた20等級の保険を引き継いだ場合、1年間の保険料は、なんと半額以下の16万400円となるのだ。仮にAさんが、孫が運転免許を取得するまで亡くなつたとしても、中斷から10年以内であれば、その等級を受け継ぐこともできる。そこで、孫にとつてはありがたい「形見」となる。無事故割引が大きくなつた保険は、決して「解約」してはいけない。「中斷」手続きを取ることによって、数年後、家族や孫への大きなプレゼントになるかもしれないといふので。こうした制度は、保険料が高すぎて自動車保険に加入できないという懲りを持つ若い世代の無保険車率を下げるこども役立つだろ。

自動車保険の解約を申し

中斷契約を引き継ぐ条件

- 旧契約の記名被保険者(契約車を主に使用する人)が新契約の記名被保険者と同一であること、および旧契約の所有者が新契約の所有者と同一であること。
- ただし、旧契約と新契約とで下記のような記名被保険者の変更があった場合には、旧契約と新契約の記名被保険者を同一とみなすことができる。
 - ・配偶者間の変更
 - ・同居の親族間の変更
 - ・記名被保険者の配偶者の同居の親族への変更等

同様に所有者について変更があった場合も、一定の範囲で同一とみなすことができる

やなぎはら・みか 交通事故、司法問題などを取材。著書に『自動車保険の落とし穴』『交通事故被害者は二度泣かされる』など